

仏教保育



のねらい



ぜんじょうせいじゃく

### 「禅定静寂」

♡よく考え、静かに落ち着いた心♡を育てる

子どもたちも日々の保育の中で、活発に遊ぶ時と心静かに考える時間とのメリハリをつけ、落ち着いた生活態度の習慣を身に付けられるようにしましょう。



ヒトメタニューモウイルスにご注意下さい

ヒトメタニューモウイルスは気管支炎や肺炎を引き起こすウイルスの1種です。

インフルエンザのような39℃台の高熱が続き、RSウイルスのような「ヒューヒュー」という呼吸音が見られます。

1～3歳児間で流行しますが、大人もかかります。1回の感染では免疫が獲得できない為、繰り返し感染します。これからが流行時期です。

いろいろな病名を聞くと心配になりますが、感染予防の基本は手洗い・うがいですので子どもたちにも習慣づいていくように家庭内でも親子で取り組んでみて下さいね。

### 2月3日は豆まき会

季節の変わり目を「節分」といい、現在では立春の前日を言います。豆まきは、悪い鬼(病気)を追い払う意味があります。ひいらぎ(柊)の葉といわし(鰯)の飾りも病気や邪気を追い払う意味があります。今年も保育園に《鬼》がやってきました。子どもたちは元気に豆をまいて悪い鬼を追い払いました。

楽しい節分ですが、同じ島根県ということもあり、数年前の節分の豆まき行事での死亡事故のことが思い返されます。あおい保育園では、事故直後から誤飲・誤嚥の危険性のある食材については形状を再検討する、食材によっては中止することになりました。

事故防止のガイドライン(厚生労働省より)では豆の他にも乳幼児が口にすることは注意が必要な食品等が記載されています。が、それらの食品でも調理の際に切り方に配慮をすることや傍で十分に大人が見守りを行うことで安全に食事をすることができるものもあります。危ないからといって全てをやめてしまうのではなく、安全に配慮をしながら物事を柔軟に変化させ、工夫して行い、子どもたちの体験や育ちを大切にしていきたいと思えます。



# げんきっこ

R5・2・16



## 卒園式・新年度準備期間について

3月25日(土)は卒園式の為、給食、午後の保育はありません。

※お迎えの時間につきましては後日、文章でお伝えいたします。

式後の27日～31日は年齢別保育ではなく、合同保育とさせていただきます。

30、31日は新年度準備期間の為、希望保育となります。2日間は延長保育はありません。家庭保育が可能なご家庭につきましてはご協力を宜しくお願い致します。



## 脳にうれしい絵本の読み聞かせ

絵本の読み聞かせをしてもらうと、子どもの脳の中では、特に「嬉しい」「悲しい」といった感情をつかさどる『心の脳』とも呼ばれる大脳辺縁系という部分が活発になると言われていて、心を育てるのに一役買っています。お忙しい毎日だと思いますが、時間に余裕のある時には絵本を親子で広げてみるのもいいですね。



# おたんじょうび おめでとう!!

♡2がつの誕生日会♡

5人の子どもたちのお祝いをしました。友だちに冠を被せてもらったり、大きくなったらなりたいものを紹介してくれました。お楽しみはパネルシアターの「だれの帽子かな」とお人形の「たあちゃん」とマネっこピーナッツで勝負をしました。



一緒に遊んで楽しんだよ!!

## 涅槃会(お釈迦様がお亡くなりになった日)



35歳でお悟りを開かれたお釈迦様は、大勢の人々に「人間としての生き方」を説いていました。

そうした日々を45年も続けていたお釈迦様でしたが、80歳を迎えた日、伝道の旅も終わりに近づいていることをお悟りになりました。そして、二本の沙羅の木の間の床で、頭を北に、顔を西に向け、右手を枕にされて寝て、静かに涅槃に入られました。大勢のお弟子や動物たちもお釈迦様が亡くなられたことを心から悲しみました。2月15日の夜のことでした。

園では、お釈迦様の亡くなられた時の様子を子どもたちに話しました。年長児の中には、お釈迦様のまわりでたくさんの生き物たちがお釈迦様のお亡くなりを感じている様子を覚えている子もいました。《人間だけでなく、たくさんの虫や動物も同じようにすべての命は尊いもの》ということを感じ、自分も周りの人も大切にしたいと思えます。